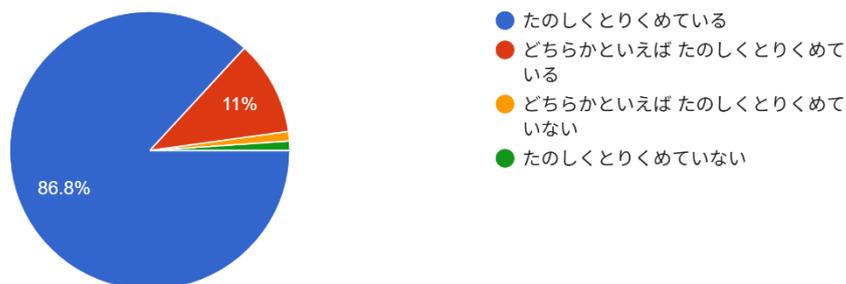


下諏訪南小学校 令和7年度 外国語活動に関するアンケート

1 低学年児童による自己評価アンケートの結果

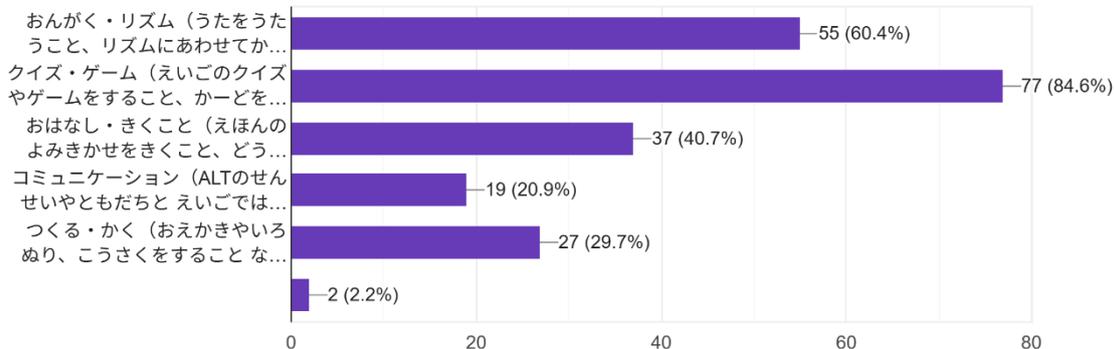
あなたは、えいごのじゅぎょうにたのしくとりくめていますか。

91件の回答



あなたが、えいごのじゅぎょうのなかでたのしくとりくめているものをすべてこたえましょう。

91件の回答



2 児童アンケートについての結果と考察

本校では、低学年における英語教育の特例校として、1・2学年における英語教育の充実を図っています。1年間のまとめとして、外国語活動への関心や学習状況を把握するため、1・2学年の児童を対象に自己評価アンケートを実施いたしました。その結果と今後の取り組みについての考察をご報告いたします。

1. 英語の授業に対する高い意欲と満足度

「あなたは、英語の授業に楽しく取り組んでいますか」という質問に対し、「楽しく取り組んでいる(86.8%)」、「どちらかといえば楽しく取り組んでいる(11.0%)」と回答した児童が合わせて約98%に達しました。ほぼすべての児童が前向きに、そして楽しく外国語活動に参加できていることがデータから読み取れます。

2. 好きな活動の傾向と今後の課題

「楽しく取り組んでいる活動(複数回答)」については、以下の結果となりました。

- 「クイズ・ゲーム(84.6%)」や「音楽・リズム(60.4%)」が上位を占めており、遊びの要素を取り入れたり、音やリズムに合わせて活動したりすることが、児童の学習意欲を引き出す大きな要因となっていることが伺えます。
- 「お話・聞くこと(40.7%)」や「つくる・かくこと(29.7%)」にも一定の支持があり、多様な学習活動が児童それぞれの興味に結びついていると考えられます。
- 一方で、ALTの先生や友達と英語で関わる「コミュニケーション(20.9%)」を楽しんでいる児童は、他の項目と比較してやや少ない結果となりました。

3. 今後の指導に向けて

今回の自己評価データから、現在の「楽しみながら英語に慣れ親しむ」という活動が、児童の意欲向上に大きく寄与していることが確認できました。今後は、児童が大好きな「クイズやゲーム」などの活動の中に、友達やALTと自然にやり取りをする場面を増やしていくことが大切だと考えています。英語を使って「伝わった!」「コミュニケーションって楽しい!」という成功体験を積み重ね、自信を持って対話できる児童を育ててまいります。